

それいゆ

いなぎの女性情報誌



内容

- いなぎの女性^{ひと}～ご存知ですか、あい^{あい}ショップ～
- 男女雇用機会均等法が変わります
- マザーズハローワーク東京オープン
- 労働セミナーのお知らせ
- 男女平等推進いなぎプランスタート
- 男女平等推進センターの図書貸出をはじめました
- 女と男のフォーラムいなぎ2006 報告

他



vol. 18
2006

稲 城 市



いなぎの女性

～ご存知ですか、あいショップ～

レンタルボックス『あいショップ』は、空き店舗対策商店街活性化事業として空き店舗を利用して、市民と商店会とのふれあいの場になるようレンタルボックスを昨年の12月にオープンしました。

改装された明るい店内には、80区画ほどのボックスが並び、それぞれのボックスはかわいらしい小物類を中心に工夫をこらして飾られています。出店者の多くは女性だそうです。

今回は、レンタルボックス『あいショップ』に出店されている方々にお話を伺いました。



▲ 左から遠藤さん、鷹本さん、このさん

聞き手（以下聞）：お集まりいただきありがとうございます。まず、みなさんの自己紹介と出品しているものを教えてください。

遠藤さん（以下え）：遠藤です。市内に住んでいます。石^{せき}碎^{さい}粘土^とで作っている作品やビーズの小物類、子ども用の靴やキラキラのパーツをつけたもの（のアクセサリ）を作って出品しています。

鷹本さん（以下が）：鷹本です。市外から来ています。ミシン^{しん}ががが大好きで主に布のバックに刺^{しゅう}繡^{しゅう}を施したものを出品しています。トートバックが多いですね。

このさん（以下こ）：市内在住のこののと申します。主にパッチワークです。それとベビーものの小物と最近はじめたマクラメ（糸や紐を編んだり結んだもの）を手さげの取っ手に使ったものなどを作っています。

聞：みなさん手作りの作品を出されていますが、

作り始めるきっかけは何ですか？

え：十数年前に石^{せき}碎^{さい}粘土^とを習い始め、趣味で続けていました。他の小物類は、本を見て独学したり、キラキラしたものなどは自分が好きで欲しいと思うものを工夫して作っています。

が：洋裁を独身時代から続けています。ミシン^{しん}ががとにかく大好きで。

こ：20年くらい前にお友達に誘われて、パッチワークを始めたんですが、10年前に本格的に学校（手芸の）に月2回通いはじめました。何か趣味をもって、子離れしなきゃって思いまして。趣味の友だちも欲しいし。

え：夢中になれるものって必要ですね。

聞：続いて、あいショップに出店するきっかけは何ですか。

え：文化センターで知り合った方から紹介されました。

が：近くのカラオケ教室に来ていてあいショップを知りました。今まで会社勤めをしていたのですが、辞めたのを機に出店しました。

こ：私は、お友達から広報に（出店者募集の記事が）載っているのを教えてもらったのがきっかけです。

聞：出店していて良かったこと・悪かったことなどありますか。まずはよかったことから。

が：とにかく楽しいです。張り合いがあって、朝起きたらすぐにミシン^{しん}をかけたくなります。

え：私もそう。だらだらした時間はなくなりました。

が：楽しくていつでもやりたい。テレビを観る時間も寝る時間も惜しいぐらい・・・無駄な時間はなくなりました。

こ：私もそうです。

え：最近は、100円ショップで何でも買えるじゃありませんか。だからお金を出してくれるのは難しいことだと思うので、使い勝手を工夫したり、目を引くものや他にはないような手作りならではの物を作ろうと目を肥やしたり、いろんな所へ行って見本を買って来たりして、勉強したりするようになりました。

こ：私もパッチワークだけではなくて、やりたいことがどんどん膨らんできて・・・デッサンの勉強などもはじめています。お友だちも広がってきていますね。

聞：自分だけの趣味にとどまらず、熱心に研究されているようですね。逆に悪いこと、よくないなと思うようなことはありますか。

こ：家族から片付けてっていわれてしまいます（笑）。作業する部屋があればいいんですが。



が：掃除や夕飯の支度に手抜きが増えました・・(笑)

え：私も家事ためてしまいます、アイロンがけとか。

聞：家族の協力や反応はいかがですか。

こ：夫が洗濯物を片付けてくれたり、社会人の娘たちが食事の手伝いなどをしてくれるようになりました。

が：うちは何にも（協力は）ないですね、夫もしゅうとめも息子たちも何も言いません。黙っていてくれるのが応援かもしれませんね。あまりのめりすぎないようにしていますが。

え：うちも心よく見守ってくれています。

聞：ちなみに、みなさん売り上げってどうされていますか。

が：初めは、場所代と材料代だけでも出ればいやと思っていたんですけど、最近はちょっとプラスになってきています。

え：私もほとんど材料費と見本を買ったり勉強代などですけど。それとお茶でもちょっと飲めるかなぐらいかしら。

こ：私は、ほとんど材料費です。材料を買えなくて別の仕事をしているようなものです。でも仕事をしていると作る時間がとれなくて。

聞：あいショップのいいところ、また望むことなどはありますか。

え：自分の店にはあこがれますが、資金繰りや店に詰めていなければならないなど、いろいろと難しいことがあって実現ができないので、あいショップは手軽でいいです。でもあいショップでは場所の制約があるので靴などはインターネットでの販売もしています。あいショップのいいところは対面なので、（お客様が）どんなものに興味があるのか気になるし、勉強にもなります。自分の物を気に入ってくださり、また買いに来てくださるリピーターの方がとてもうれしいです。

が：私が店番のお当番の時に、2回ほど自分のものを買っていかれた方がいらっしゃいました。私が作りましたとは言えませんでしたけれど・・・(笑)。お当番は、朝が早いので月1・2回ですがつらい時があります。

こ：私は、月に1・2回の（店番の）お当番が楽しいです。仕事で嫌なことがあっても忘れられてストレス発散になります。自分の作ったものを使ってくださっている方を街中で見かけるのは夢ですね。(笑)

え：若い方や小さいお子さんをお持ちのお母さん方にももっと来ていただきたいですね。また、男性のお客様もぜひお越しいただきたいです。

が：男性には入りにくいお店なのかもしれないですね。男性向けの物も少ないし。

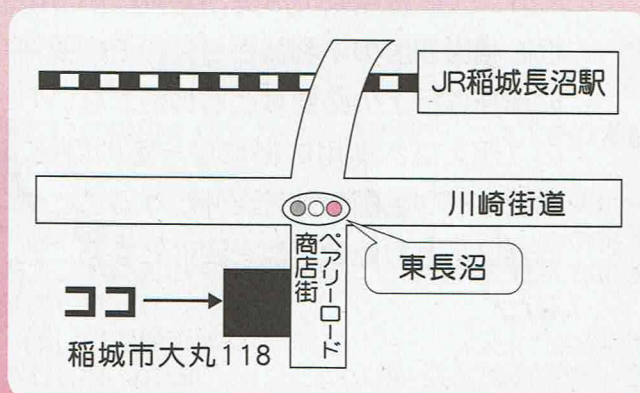
え：いろんな方にいろんな物をたくさん出店してほしいですね。

聞：みなさんお忙しいところありがとうございました。

とても生き生きとお話をさせていただきました。趣味として楽しんでいたものを出店することでよりよいものを創ろうと工夫されたり、人とのつながりが広がったり、何よりとっても楽しんでいる姿が素敵だなと思いました。このあいショップは、ひと月3千円程度の出店料と月に1回程度の販売のスタッフになることが出店の条件だそうです。まずは、みなさんも一度お店をのぞいてみてはいかがですか。



【あいショップ 案内図】



問い合わせ 稲城市商店会連合会
(稲城市商工会内)
電話 042 - 377 - 1696

男女雇用機会均等法 が変わります。

～平成 19 年 4 月スタート～

職場に働く人が性別により差別されることなく、また、働く女性が母性を尊重されつつ、その能力を十分発揮することができる雇用環境を整備するため男女雇用機会均等法及び労働基準法の一部が改正されます。

改正のポイント

男女雇用機会均等法

1. 性別による差別禁止の範囲の拡大
(・男性に対する差別も禁止
・禁止される差別の追加、明確化
・間接差別の禁止※)
2. 妊娠・出産等を理由とする不利益取扱いの禁止
3. セクシュアル・ハラスメント対策
4. 母性健康管理措置
5. ポジティブ・アクションの推進
6. 過料の創設

労働基準法

1. 女性の坑内労働（トンネル、鉱山の坑内）の規制緩和

※間接差別とは・・・

外見上は性中立的な要件だが、一方の性に相当程度の不利益を与え、その要件に業務遂行上の必要など合理性がないもの（例えば、採用にあたり一定の身長、体重などや全国転勤を要件とすることや昇進にあたり転勤経験を要件とすることなど）

『マザーズハローワーク東京』

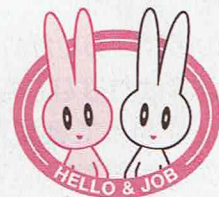
Mothers'
Hello
Work
Tokyo

オープン

(渋谷駅東口徒歩 3 分)

すべての女性の就職を応援します。

- * 自分の能力を十分に発揮できる企業に就職したい
- * 在職中だけど、これから結婚～出産～育児を考えると転職したい
- * 家族に配慮した制度や雇用管理が導入されている企業で就職したい
- * 家庭・育児と両立するためにパートで働きたい
- * 育児や介護ですぐには働かないけれど、今から情報を収集したい
- * 子育て中だけど、今すぐ就職したい！という方のために専任制による個別の就職支援を行っています。
- * お子様連れも OK（授乳室・チャイルドコーナーあります。）
- * 国の機関なので、ご利用はすべて無料です。



所在地：渋谷区渋谷 1 - 13 - 7 千秋ビル 3 階

電話：03 - 3409 - 8609

<http://www.hw-shibuya.go.jp/mothers'.html>

利用時間：平日 10 時～ 19 時 土曜 10 時～ 17 時

定休日 日曜・祝日・年末年始

経営戦略としての労働CSR

～男女共に能力を発揮できる企業とは～

日 時	主な講演内容	講 師
12月5日(火) 13時30分から 16時30分まで	会社経営の労働分野におけるCSRの重要性について ○労働CSRの指標について 他	法政大学 講 師 山本圭子さん
12月7日(木) 13時30分から 16時30分まで	労働CSRの具体的取組みについて ○労働者の基本的権利の保全 ○改正男女雇用機会均等法 ○両立支援の取り組み ○ポジティブ・アクション	

※CSR(企業の社会的責任)

<会 場> 稲城市地域振興プラザ4階 大会議室(消防署東側)

<対 象> 使用者、人事労務担当者または関心のある方であればどなたでも受講できます。

<定 員> 80名(先着順)

<申込方法> 下記の電話・FAXにてお申し込みください。

お問合せ・申込先 企画部 協働推進課 女性青少年係

電 話 042-378-2112 FAX 042-378-6971

ホームページ 『TOKYOはたらくネット』

URL: <http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/>

いなぎ・ウィメンズ学習会

参加してきました

「稲城の女性の過去・現在・未来」



10月1日に中央文化センターで女性史についての学習会が行われました。

講師には、女性史研究者の折井美耶子さんや稲城市女性行動計画推進協議会の会長をされたこともある岡田哲子さんを迎え、日本や世界の動き、そして稲城の女性たちの歩みを学びました。

この催しの主催である「いなぎ・ウィメンズ」は、1983年に結成され、「稲城市婦人のつどい」(現:女と男のフォーラムいなぎ)や学習会を自主的に実施してきたり、市への要望書の提出など、23年間、男女共同参画社会の実現に向かって稲城の女性の中心となって活動されてきました。この活動の総決算としてこの学習会は実施されたそうです。 文責:<

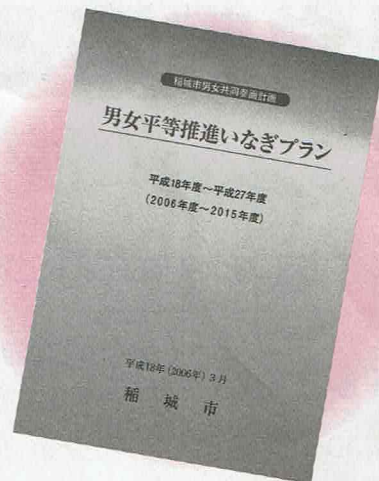
「男女平等推進いなぎプラン」

(第三次稲城市男女共同参画計画)

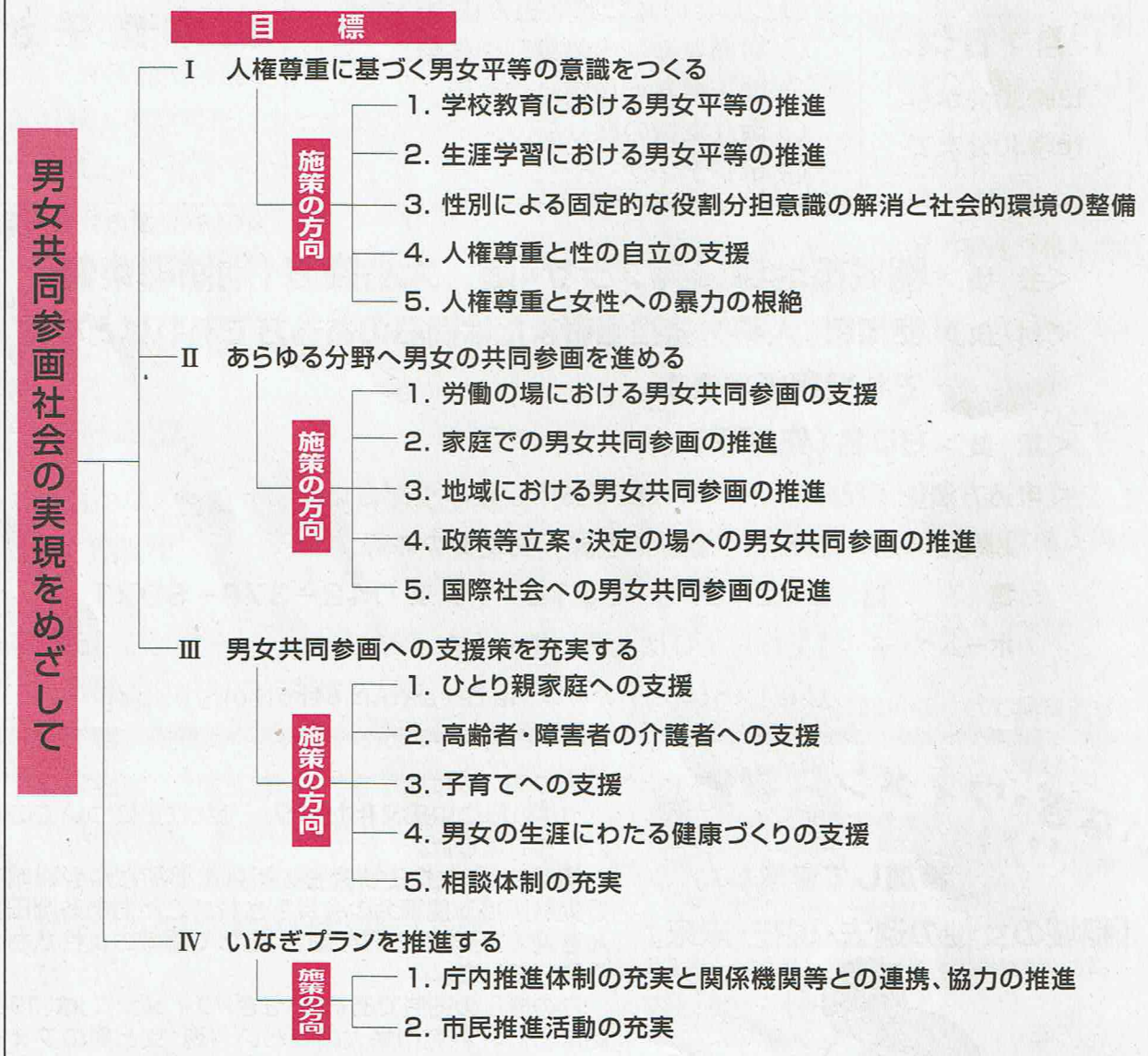
ズクニト!

稲城市では、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向けて、市が行う施策や事業を「男女平等推進いなぎプラン」として策定しています。このプランは、庁内全体で取り組むとともに、市民の参画と協力により推進していくもので、4つの目標と17の施策の方向が定められ、189の事業を挙げています。

このプランの計画期間は、今年度から10年間（平成18年4月～28年3月）とし、必要に応じ計画の見直しを検討していきます。



【男女平等推進いなぎプラン体系図】

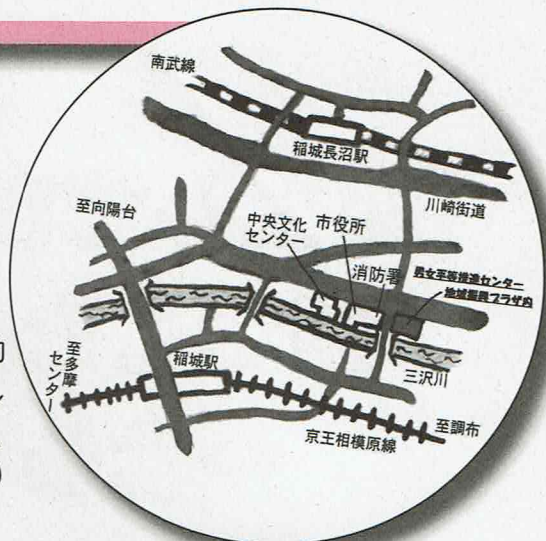


詳しくは、稲城市男女共同参画計画『男女平等推進いなぎプラン』の計画書をご覧ください。市内の各図書館、市役所1階情報公開コーナーでご覧いただけます。またご希望の方には男女平等推進センター（地域振興プラザ1階事務所）にて差し上げます。

男女平等推進センターからの

お知らせ

男女平等推進センターは、男女共同参画に関する活動を支援するための拠点施設として昨年4月にオープンしました。情報資料コーナー、打ち合わせコーナー、相談室、キッズルームなどがあります。みなさんぜひお立ち寄りください。



情報資料コーナー 図書の貸出しはじめました

情報資料コーナーには、インターネットパソコンや書籍・行政資料、啓発ビデオなどを備えていて、閲覧するスペースがあります。

このたび、男女平等推進センターと隣接する市民活動サポートセンターと共に図書の貸し出しをはじめましたので、ぜひご利用ください。

貸出対象：男女平等推進センター・市民活動サポートセンターの書籍・資料等約400点

貸出場所：地域振興プラザ1階事務室

貸出冊数：おひとり2冊まで

貸出期間：2週間

貸出時間：午前9時から午後5時まで

相談室

いなぎ女性の悩み相談をご利用ください

悩んでいませんか？あなたの生き方、パートナーや恋人からの暴力。仕事の悩み、人間関係（親子も含めて）や子育ての悩みなどひとりで悩まず、お気軽にお電話ください。

専門の相談員が親身になって相談をお受けします。秘密は固く守ります。

電話相談・面接相談どちらでも出来ます。おひとり50分程度の相談時間で予約制です。相談無料です。

相談日時：毎月第1・3水曜日、第4土曜日

申込方法：相談日の前日（平日のみ）までに予約してください

申込受付：電話042-378-2112（協働推進課女性青少年係）

申込時間：平日8時30分から17時まで

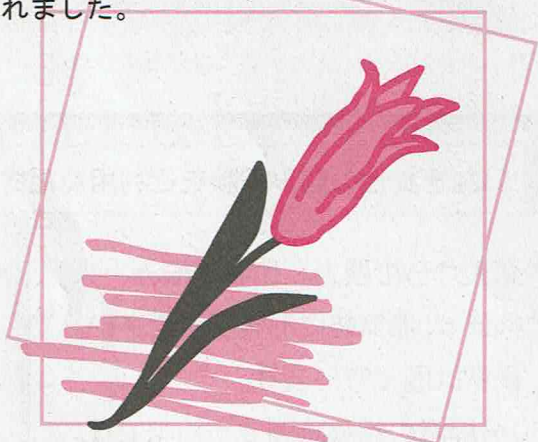
『気にしてありますか？ 勝つことと負けること ～私らしさの見つけ方～』

春の到来を感じる暖かな日となった3月4日、去年オープンしたばかりの男女平等推進センターのある地域振興プラザ会議室で女と男のフォーラムいなぎが開催されました。

このフォーラムは、市民公募による実行委員会の企画運営で行われ、1976年にはじまり、30年以上続いています。

今回は、鋭い分析眼をもつことで定評のある人気の精神科医、香山リカさんを講師に迎え、会場一杯の170人のみなさんが香山さんの話に熱心に耳を傾けました。

香山リカさんの講演の他、稲城市女性行動計画推進協議会の報告や詩の朗読、交流会などが行われました。



男女平等推進 センターにある

香山リカさんの著作

『ウェディング・マニア』

『香山リカの生きる力をつける処方箋』

『サヨナラ、あきらめきれない症候群』

それいゆ Vol.18

平成18年12月1日発行

編集発行／稲城市企画部協働推進課女性青少年係

稲城市東長沼2112-1(地域振興プラザ内)

電話 042-378-2112

誌名の『それいゆ』は、雑誌「青鞥」の創刊の辞として有名な「元祖、女性は太陽であった」の太陽の意味です。やさしい響きのフランス語をひらがなに置き換えました。市民からの公募で命名された愛称です。『それいゆ』の発行は男女平等推進いなぎプランに基づく事業です。